

防 災 フ ェ イ ズ		名 称： 市立大洲病院 防災タイムライン『外来・連携室』		(第1版 2019.12) 策定・更新：市立大洲病院災害対策チーム					
防 災 フ ェ イ ズ	策定目的：	当院の患者と職員の安全確保 および 施設の被災を最小限にして医療行為を継続するため			だれが	各部門に必要な図有で細分化された『各部門別タイムライン』は、本紙を雛形に各部門で策定する。			
	対象災害：	暴風、大雨、河川氾濫			本 部	外 来 ・ 連 携 室			
	被災想定：	建物への浸水、道路冠水などによる孤立			事 務 課	備 考			
		いつ (OR条件)		なにを (誰でもわかる明確な内容、同一フェーズ内は順不同)		★災害対策本部が指揮命令 ●全部門にまたがる行動のとりまとめ部門 ○行動する部門			
フ ェ イ ズ I	気象庁の 警戒レベル2 ・大雨注意報 ・洪水注意報 ・高潮注意報 ・はん濫注意報	台風が集中豪雨 ・発生 ・接近予測の <b>72～48時間前</b>	河川の状態 【はん濫注意水位】 ・大洲第2水位観測所 の水位 <b>3.8m</b>	情報	気象情報、ダム放流情報の確認 (以後、定期的に継続)	●			
				情報	近隣河川の水位を確認 (以後、定期的に継続)	●			
				情報	停電時の対応確認 (電源確保、ライト、ラジオの準備)		○		
				モノ	衛生材料、薬品、物品の在庫確認・発注		○		
フ ェ イ ズ II	気象庁の 警戒レベル3 ・大雨警報 ・洪水警報 ・高潮注意報 (警報切替の可能性あり) ・はん濫警戒情報	台風が集中豪雨 ・進路上にあり ・接近予測の <b>48～24時間前</b>	河川の状態 【はん濫危険水位 (有堤)】 ・大洲第2水位観測所 の水位 <b>4.8m</b>	情報	通行止め等の道路状況を確認 (以後、定期的に継続)	●			
				情報	大洲市危機管理課と情報共有 (以後、継続)	●			
				情報	他院と救急体制を確認 (被災した場合の連携など)	●			
				情報	停電時非常時の外部連絡先を再確認	●			
				モノ	防災備品の在庫確認	●			
				関連部門	転院受け入れ患者の延期検討		○		
				関連部門	予定入院患者の延期検討 (手術予定患者も含む)		○		
				関連部門	再診患者の状況把握 (再診日の調整、処方みの診察受診検討)		○		
				関連部門	レスパイト入院患者の前倒し受け入れ検討		○		
				関連部門	優先業務の検討・決定		○		
フ ェ イ ズ III	災害発生への恐れ (台風・豪雨の接近が休日・深夜)があれば <b>業務と並行して「仮設置」する</b>	台風が集中豪雨 ・接近中 ・接近予測の <b>24～12時間前</b>	河川の状態 【はん濫危険水位 (有堤)】 ・大洲第2水位観測所 の水位 <b>5.8m</b>	災害対策本部《仮》設置			《仮》災害対策本部は、1階事務課に設置		
				本部	防災タイムラインの再確認をする (役割・体制の把握)	★	●	○	
				本部	被災予想時間が外来と重なる場合、外来診療の継続の有無を判断し告知する	★	●	○	外来患者の早期帰宅を促す (貼紙や放送で広報) 面会者への同様の対応
				本部	時系列の記録 (クロノロジー) 開始 (ホワイトボードまたはPC、紙ノートでも可)	★	●		緊急時の情報管理方法 (ふりかえりにも活用)
				ヒト	災害対策本部《仮》設置時点の、医師を含む全職員の勤務調整(1) とりまとめ担当；事務課 (正式設置の際の準備として)		●	○	目的：災害対策本部を設置する前の段階で、予備的に行う (各部門で動員表、帰宅困難者、通勤困難者、通勤経路など調査する)
				モノ	ラジオ、防災無線など最低ラインの通信手段が使えるか確認 (電池も)		●		目的：電話とネットが使えない際の情報収集への備え
				モノ	屋上、階段室の確認		●		目的：浸水時、屋上から救出される場合、屋上に安全に避難できるか？屋上は安全か？など確認
				モノ	全ての窓を施錠、カーテンやブラインドを閉める		●	○	目的：暴風などで窓ガラスが破損した時の飛散防止のため (他部門も協力)
				モノ	ベランダや窓の下に動かせないモノがあれば撤去		●	○	目的：暴風対策 (他部門も協力)
				モノ	屋外の備品撤去		●		目的：暴風対策 (案内板、カラーコーン、車立て等)
フ ェ イ ズ IV	災害レベルが上がる恐れがあれば、正式に設置する	台風が集中豪雨 ・何らかの被災が 確定 ・接近予測の <b>12～6時間前</b>	河川の状態 【はん濫危険水位 (有堤)】 ・大洲第2水位観測所 の水位 <b>5.8m</b>	災害対策本部《正式》設置			災害対策本部は、1階事務課から3階講堂に移動 本部用ホワイトボード準備		
				本部	災害対策本部設置時点の、入院患者、職員数の把握を指示	★	●	○	目的：孤立した場合の飲料水、食料、トイレ、水タンク貯水量などの試算のため
				本部	防災タイムラインの再確認をする (役割・体制の把握)	★	●	○	
				本部	ホワイトボードに時系列の記録 (クロノロジー) 開始 (以後、継続)	★	●		緊急時の情報管理方法 (ふりかえりにも活用)
				本部	被災予想時間が外来と重なる場合、外来診療の継続の有無を判断し告知する	★	●	○	外来患者の早期帰宅を促す (貼紙や放送で広報) 面会者への同様の対応
				本部	「災害対策本部設置」を職員向けにメールで周知 (以後、必要に応じてメール送信)	★	●	○	
				ヒト	医師を含む全職員の勤務調整(2) とりまとめ担当；事務課	★	●	○	目的：災害発生時に職員招集などに支障があるヒトを確認する
				ヒト	必要に応じ、屋内託児への切替を検討 (職員の動員と連携)	★	○	○	臨時の院内保育所は4階に開設する
				モノ	近隣丘陵地のフラワーパーク駐車場の使用許可を取り、敷地内駐車場の車を移動するアナウンスをする	★	●		目的：洪水対策
				防水	①水囊を作成 ②分担して水囊マップの位置に置く	★	●	○	事前作成した「水囊マップ」を参照
防水	1階の各部屋のコンセントを防水テープでシール	★	●	○	出入り口を最後に防水する				
防水	各装置の電源を切る		○	○					
防水	ケーブルに目印を付けたPCと周辺機器をデスク上へ退避	★	●	○	目的：退避したあとの復旧時に再配線が混乱しないため				
防水	移動できない機器がある部門の防水対策		●	○	防水テープで部屋のドア、コンセントをシール				
防水	各部門の重要な医療機器を退避		○	○	3階講堂へ退避する。				
防水	移動可能な医療機器を3階以上の階へ移動する			○					
防水	土嚢・水囊を設置マップにそって設置			○					
防水	外来にある車椅子、歩行器、待合室のいすを移動 (移動できなければ固定)			○					
防水	移動不可の医療機器の防水対策			○					
情報	利用可能な通信手段の確認 (TEL、FAX、PHS、インターネットなど)			○					
情報	避難経路の確認			○					
情報	勤務職員数の把握			○					
ヒト	外来患者の診察中断、帰宅支援、帰宅準備			○					
フ ェ イ ズ V	気象庁の 警戒レベル5 ・高潮特別警報 ・大雨特別警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫発生情報	台風が集中豪雨 ・最も接近	河川の状態 ・久米川堤防の <b>越水</b> ・脇川の堤防決壊	モノ	敷地内、建物内の被害状況の確認	★	●	○	
				モノ	建物に孤立または 帰宅困難者がいる場合；職員の休憩室 (待機室) の確保と周知	★	●		休憩室は、各病棟の空き病室または2階休憩室
				停電	自家発電の有無を確認、貯水タンクが使用できるか確認	★			
				停電	医療機器の電源確保の優先順位に従い、電力事情によって切り分ける内容を再確認 (以後、電力事情によって対応する)	★	●	○	
				停電	【停電】または【停電に備え】エレベータ使用制限	★	●		
				断水	屋上貯水タンクの浄水を計画的に使用するため、節水の周知 (貼紙設置)	★	●		
				断水	トイレ用タンクの水を計画的に使用するため、トイレ使用制限 (貼紙やロープ設置) ※1階トイレと各階和式トイレは使用禁止	★	●		
				ヒト	医師を含む全職員の勤務調整(3) とりまとめ担当；事務課	★	●	○	目的：災害発生時に職員招集などに支障があるヒトを確認する
				ヒト	常勤医師、非常勤医師の動員と移動手段の確認	★	●		
				ヒト	職員の安否確認 (全体または部門単位で)	★	●	○	
関連部門	入院患者、職員を含めて非常食の切替	★	●						
情報	救急輸送病院の被害状況を確認	★	●						